

4月29日(金)～5月5日(木)

# 春の動物園まつり開催中!

開園時間 午前9時30分～午後4時30分 (入園は午後4時まで) 入園料 大人580円、中学生以下無料

問合せ 釧路市動物園 (☎56-2121)  
 URL <https://www.city.kushiro.lg.jp/zoo/>



## ●ヒツジのキーホルダーをつくろう!

ヒツジの毛を飾りつけたキーホルダーをつくろう! 毛の手触りはどんな感じかな?

時間 ①午前10時30分～11時30分  
 ②午後2時30分～3時15分

場所 こどもどうぶつえん  
 (雨天: 中央広場)

定員 各回50人 (先着順)

4月  
29日(金)



## ●かえるをつくろう! ワークショップ

牛乳パックでエゾアカガエルをつくろう! ぴょんと高く跳ばせるかな?

時間 ①午前10時～11時  
 ②午後1時30分～2時30分

場所 中央広場

定員 各回40人 (先着順)

4月  
30日(土)



## ●ハクチョウの羽でドリームキャッチャーをつくろう! ワークショップ

時間 ①午前10時30分～11時30分  
 ②午後1時30分～2時30分

場所 中央広場

定員 各回40人 (先着順)

5月  
1日(日)

## ●おはなし会

動物の絵本を読んだり、クイズをしたりするよ!

時間 ①午前11時～②午後1時30分～

場所 中央広場

定員 各回6組 (先着順)

5月  
2日(月)

## ●動物のあしクイズラリー

園内4カ所に設置したクイズを解いて動物園を巡ろう! 動物たちの「あし」をじっくり観察してクイズに挑戦してね。

時間 午前9時30分～

場所 正門・西門

(景品交換場所 中央広場)

定員 200人 (先着順)

5月  
3日(火)・  
4日(水)



## ●ペンギンのしおりをつくろう! ワークショップ

ファンボルトペンギンの羽を使って、世界に一つだけのオリジナルのしおりをつくろう!

時間 ①午前10時30分～11時30分  
 ②午後1時30分～2時30分

場所 中央広場

定員 各回40人 (先着順)

5月  
5日(木)



## ★こども縁日★



回転輪投げ、射的、ぶるぶる釣り堀、千本くじが楽しめます。

時間 午前10時30分～午後3時

(※景品がなくなり次第終了)

場所 サル山前ステージ広場

定員 各店舗1日200人限定

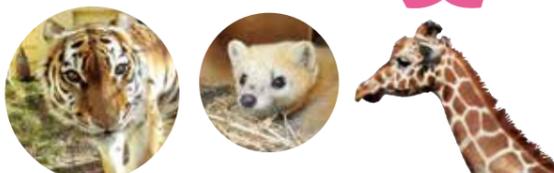
5月  
3日(火)～  
5日(木)限定

## ●ご来園に当たってのお願い

マスクの着用をお願いします (マスクは総合案内所で販売)。入口に設置してある消毒用アルコールをご利用ください。体調不良の方は、入園を控えてください。

※イベントは、新型コロナウイルス感染症や、高病原性鳥インフルエンザの拡大により変更・中止となることもあります。

開催の有無は当園のホームページや動物園公式ツイッターをご確認ください。



## 第48回 くしろチューリップ&花フェア開催

サクラも楽しめます!

色鮮やかなチューリップが一面に咲き誇る鶴ヶ岱公園で、春の一日を満喫しませんか?

地元バンドの音楽演奏や市内園児たちによるお遊戯、テント市、露店、フリーマーケットなどの他、最後には抽選会も行われ、22日(日)には、ヒートボイスのライブもあります。今年はチューリップ花壇を一周する「ポニー花馬車」(無料)を運行します。

日時 本祭 5月22日(日)、前日祭 21日(土)午前10時～午後4時 (両日)  
 ※雨天の場合、正午～午後3時 (両日)

会場 鶴ヶ岱公園 (雨天の場合、武道館)

問合せ 釧路チューリップフェア実行委員会 (☎22-2232)

※今年は、臨時シャトルバスは運行しません。マスクの着用、三密の防止など新型コロナウイルス感染症への予防対策をお願いします。



## 阿寒湖温泉 (阿寒摩周国立公園内) が北海道内で初めて「ゼロカーボンパーク」に登録されました

問合せ 阿寒町行政センター市民課環境担当 (☎66-2211)

ゼロカーボンパークとは、環境省が提唱する国立公園の脱炭素化を目指すとともに、脱プラスチックを含めてサステナブルな観光地づくりを実現していくエリアのことです。

環境省や地域の関係者の皆さんと協議を進め、3月1日に申請し、3月18日付で登録されました。国内で4番目、北海道内では初めての登録です。

市では、21 (令和3) 年2月にゼロカーボンシティを宣言し、脱炭素化やプラスチックごみの削減に積極的に取り組んできました。

ゼロカーボンパークとして登録されることとなった取り組みの概要は、「トレイルネットワーク及びゼロカーボン観光の推進」「温泉熱利用設備の導入」「地元のおいしい水のPRによるマイボトル推進」「民間事業者と連携した普及啓発」などの活動です。

今後は、市が自然と共生し、持続可能な地域社会の実現に向けて取り組む環境都市としての魅力がさらに高まることが期待されています。

